

株式会社橋本道路 太陽光発電事業(東矢本第一太陽光発電所)

■事業概要

本事業は、宮城県東松島市の東松島防災調整池（市有地）に敷地面積約 6,000 m²、総設備容量約 404kw の東矢本第一太陽光発電所を建設し、太陽光エネルギーを利用して発電した電気を供給するものである。

項目	内容
利子補給対象	太陽光発電設備への融資
所在地	宮城県東松島市
用途地域	—
総設備容量	約 404kw
工事予定期間	平成 28 年 3 月～平成 29 年 3 月
供用開始予定	平成 29 年 3 月

■立地環境

事業予定地は、宮城県東松島市矢本の東松島防災調整池であり、池の上に太陽光パネルを設置するため、敷地に植生は分布していない。事業予定地の西側に隣接して災害公営住宅（東矢本駅北団地）が建設され、西側約 400m には住居専用地域、東側及び北側には水田の耕作地が広がっている。南側約 230m には水田を挟んで住宅地が存在し、西側約 600m に小学校、北側約 400m に老人ホームがある。

■実施した環境影響調査

東松島市の公表資料、環境省の第 7 回自然環境保全基礎調査などの既存文献資料調査並びに専門技術者による現地調査を実施している。

■関係者（地域住民など）との情報交流の状況

事業内容、工事工程及び事業実施に際しての環境配慮の取組内容を記載した資料（紙媒体）を事業予定地の複数箇所に掲示した。

■事業者が作成した環境配慮の取組計画（例）

- 建設工事中の配慮：工事用車両は幼稚園や小学校付近を回避したルートを中心に利用し、通学時間帯を極力走行しない計画とする。
- 供用中の配慮：光反射防止膜を使用した低彩度の太陽光パネルを採用し、パネル洗浄には有機溶剤を使用せず水洗洗浄を行う計画とする。



環境配慮に関するコメント

工事用車両は幼稚園や小学校付近を回避したルートを中心に利用し、通学時間帯を極力走行しない計画とすること、光反射防止膜を使用した低彩度の太陽光パネルを採用し、パネル洗浄には有機溶剤を使用せず水洗洗浄を行う計画とすること、また、施設の稼働終了後に施設の解体を行う場合は、分別解体を行うとともに可能な限りリサイクルを行う計画としている点は評価できる。

一方、パネル洗浄水については有機溶剤を使用せず水洗洗浄を行うとのことですが、水洗洗浄の実施を継続するようお願いしたい。また、建設廃棄物のリサイクルにも積極的に取り組むようお願いしたい。